授業アンケート（令和8年度前期）実施結果

1　実施対象講義数と回答者数等

分類	講義数	受講者数	回答者数	回答率
専門課程	45	3,261	2,571	78.8%
教養課程	71	3,100	2,697	87.0%
教育職員免許科目	6	181	163	90.1%

2　集計結果

各設問について、「強く思う←6・・5・・4・・3・・2・・1　→全く思わない」から数字を選択。
選択された数字の平均値を評価結果とした

（1）専門課程

設　問　内　容		評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.30
2	教員は、学生の理解度を確認するような工夫をしていた	5.30
3	教員は、授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.24
4	この授業は、下記の学位授与方針のいずれかに寄与する授業であった	5.34
5	この授業を受講して、シラバスに記載されている到達目標に達することができた	5.24
6	この授業を受講して、その内容に対する関心が受講前よりも高まった	5.35

（2）教養課程

設　問　内　容		評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.39
2	教員は、学生の理解度を確認するような工夫をしていた	5.47
3	教員は、授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.40
4	この授業は、下記の学位授与方針のいずれかに寄与する授業であった	5.50
5	この授業を受講して、シラバスに記載されている到達目標に達することができた	5.38
6	この授業を受講して、その内容に対する関心が受講前よりも高まった	5.47

（3）教育職員免許科目

設　問　内　容		評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.43
2	教員は、学生の理解度を確認するような工夫をしていた	5.47
3	教員は、授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.40
4	この授業は、下記の学位授与方針のいずれかに寄与する授業であった	5.51
5	この授業を受講して、シラバスに記載されている到達目標に達することができた	5.31
6	この授業を受講して、その内容に対する関心が受講前よりも高まった	5.43

３ アンケート内容に関する参考事項

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー･･･本学の教育が目指す卒業時の学生の姿）

宮崎公立大学は、建学の理念とリベラルアーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士（人文学）の学位を授与します。

「人材育成目標」

国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。

「教育目標」

・創造的な問題解決能力

創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。

・コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることで他者と協力できる能力です。

・異文化理解対応力

異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。